

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
 (対象事業：北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業)

市の対応方針（案）	
事業継続	

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 事業の継続について	広域道路ネットワークの環状化による効果が非常に大きいことや、災害に対するレジリエンスを確保するという点でも事業の継続は妥当と考える。	戸畑枝光線は、円滑な物流・人流の支援、強靱なネットワークの形成などを目的としており、早期の効果発現に向け、引き続き整備を進めてまいりたい。
(2) 事業費の縮減について	大幅に事業費の増額が見込まれるため、新技術・新工法、既存の汎用品の使用等の工夫をして、事業費の縮減に努めていただきたい。	新技術・新工法の活用や、安価な既存汎用品の使用など幅広く検討し、コスト縮減に向けた工夫を積み重ねてまいりたい。
(3) 公共事業の着工前における調査・設計について	事業着手前の調査・設計にあたっては、できるだけ詳細に行い、事業費などの見通しが大幅に乖離することがないように、努めていただきたい。	新規事業に着手する際の事業費の算定に関しては、可能な限り十分な調査や検討、設計を実施してまいりたい。